

みんなのギカイ

12月の市議会の内容をわかりやすくお知らせします

目次

議案・Topics ……P1～
委員会から ……P3～
一般質問 ……P4～
きかせて!あなたの未来
……………P7



● 12月定例会 ●

宇陀市のこんなことが 決まりました。

12月定例会 12月2日～12月21日
今回の議案は

市長提出議案 …… 16件
議員提出議案 …… 1件
議長提出議案 …… 1件
計18件

今号では
この中から
3つを

Pick up

全ての議案名と結果は、議会事務局
にお問い合わせください。

Pick up 1

市税の減免申請の期限
が延長されます。

市税の減免申請は納期限の7日前までに申請をしなければなりませんでしたが、納期限までに申請すればよいことになりました。税金のお支払いが難しい時はお早めにご相談下さい。

こんな意見が出ました。

Q 滞納対策はどのようになっていますか。

A 徴収対策課では軽自動車税、固定資産税、市県民税、国民健康保険税の4税を徴収業務としています。納期限から20日以内に督促状が発せられますが、督促状が発せられてから10日を経過してもなお反応がない場合は滞納処分をしなければならぬと地方税法で定められ、法律では差し押さえしなければならぬとされています。滞納されている方につきましては従前から一括納付をお願いしておりますが、一括納付が困難な方には分割での納税相談を受けています。

Pick up 2

小中学校の耐震工事が
平成28年度で完了します。

榛原西小学校屋内運動場及び榛原中学校校舎耐震補強等工事が始まります。2つの工事をもつて子供の安全を守り、良好な教育環境の確保を図る各小中学校の耐震対策工事が全て完了します。

こんな意見が出ました。

Q 工事期間中の学校行事への対応については、どのようになりますか。

A 小学校の式典等については農林会館のホールを使用することを考えています。体育の授業ですが伊那佐体育館にスクールバスで送迎し授業を確保していきたいと考えています。

Q 工事が適正に行われたかどうかの検査はどのようになっていますか。

A 工事終了後に市職員の検査員が検査を行い、保証期間中の検査も受けています。

Pick up 3

あきののゆの指定管理者が
変わります。

平成28年4月から指定管理者が従来の事業者から新しい事業者に変更されることになりました。指定期間は平成28年4月から平成33年3月までの5年間です。

こんな意見が出ました。

Q 従来の事業者は10年間指定管理を受けてきましたが、今回辞退したのはなぜですか。

A はつきりした理由は聞いていませんが、今期の5年間は赤字経営が続いたことも一つの要因と考えられます。

Q 新しい事業者は4者による共同事業体ですが、経営計画は大丈夫ですか。

A 4者が役割分担をし、それぞれの分野での経営改善計画も示されています。

● 利用者の減少傾向をどのように立て直すかが力ぎだと思っています。特に市内利用者数が3分の1になっていることへの対策が必要です。

Topics

No.1

議員政策形成セミナーを開催致しました。

11月16日に新潟大学法学部教授で行政学者の田村秀（しげる）先生をお招きし、『地方創生〜宇陀市の魅力は〜』とのテーマのもとご講演をいただきました。

約2時間にわたる講演では、地域資源の活かし方や活性化など、地方創生についての大きなヒントを示してくださいました。なかでも、「菟田野のワールドメーブルパークや八咫鳥（やたがらす）神社は、宇陀市の観光資源として素晴らしいものであると思うのもっと世間にアピールしていつてはどうか」とのご意見をいただきました。

今回の講演を受け、早速担当課でも調査に入るなど、宇陀市の地方創生に向けて貴重な機会となりました。



No.2

山本繁博議員が、ご逝去され、井谷議員が追悼演説を行いました。

昨年9月26日、山本繁博議員がご逝去され、平成27年第4回定例会（12月議会）の冒頭、議会を代表し、井谷議員より追悼演説と共に、議員・理事者全員による黙祷が行われました。山本繁博議員の安らかなるご冥福をお祈り致します。



No.3

企業誘致検証検討特別委員会を設置し、議論を始めました。

定例会初日に『企業誘致検証検討特別委員会』を設置致しました。農産物加工所の企業が早期撤退の問題を受け、今回の企業誘致に関して、問題点等を確認、検証し、今後審議を行う場合の基準等について議論していきます。



— 常任委員会視察を行いました —

総務文教常任委員会 (平成27年10月13日～15日)



北海道で県外行政視察を行いました。札幌市では、子どもの権利を守る『子どもアシストセンターの取り組み』について、小樽市では、教育支援活動としての『小樽わくわく共育ネットワークの取り組み』について、岩見沢市では、高度ICT基盤整備による『ICTの利活用によるまちづくり』について、各担当職員の方々にお話を伺いました。

特にICTは、光ファイバー網を整備した取り組みで、宇陀市で応用可能なものでした。

福祉産業常任委員会 (平成27年11月10日～12日)



鹿児島県で県外行政視察を行いました。霧島市では、『介護ボランティアポイント制度』について、志布志市では、『ゴミ分別収集』について、鹿屋市では、『ばらを活かしたまちづくりの取り組み』について、各担当職員の方々にお話を伺いました。

少子高齢化に直面する宇陀市の課題解決に向けて、世代間で支え合う社会の構築に向けて、高齢者ボランティア活動を応援する取り組みを参考にしたいと思いました。

一 般 質 問

聞
い
て
み
た
い
な
こ
ん
な
こ
と

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？



地方創生委員会の調査が終了しました。

「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のために5月より始まった策定委員会に呼応し設置された「地方創生特別委員会」が閉会いたしました。

国立社会保障・人口問題研究所の推計では市の人口は2040年に約19,000人になるとされています。今回の計画策定では将来の宇陀市人口ビジョンとして23,000人を維持できるよう目標設定をされました。各委員より“地域や集落単位での人口目標を設定することや各事業の見直しがもう少し必要と考える”また、“年次計画を進める中でさらに踏み込んで検証をお願いしたい”等々の意見が出されました。



「榛原空襲」跡を市の平和遺産とすることについて

Q

昭和20年7月24日にアメリカ軍戦闘機は近鉄電車を空襲し、今も生々しい弾痕跡が残っている。この「空襲」跡は、平和と不戦の貴重なシンボルであり、戦後70年を迎え、「非核平和都市宣言」を行っている宇陀市としてこの「空襲」跡を平和遺産とし、永久保存に努めることが必要ではないか。

A

県内15件あった空襲の中で、「榛原空襲」は最大の犠牲者を出す惨事であった。昨年3月地元の方々から要望があり、市として現地の高架下に当時の様子を伝える案内板を設置した。この「空襲」跡は、小学生の歴史、平和教育の場ともなっており、これからも途切れることなく世代を超えて伝えることを願っている。保存には所有者である近鉄との協議が必要であり、難色を示されている。科学技術が発達した今日、コンクリートの構造物を保存するだけでなく、別の方法でも「空襲」跡を後世に伝えることを検討したい。

● その他の質問事項

・ 非正規雇用職員の処遇の改善について



やぎ かつひこ
八木勝光議員

「市民の皆様が利用しやすい宇陀市役所」を目指すことについて

Q

市民の皆さんは満足のできる行政サービスを求められています。その根幹である接遇能力の向上についての考えをお聞きます。

A

各課窓口対応において、常に職員一人ひとりが親切丁寧な対応、的確でわかりやすい説明を心掛け、気持ち良く利用して頂く事が「おもてなし」となり満足度の高い行政サービスに繋がると考えています。「身だしなみ」、「挨拶」、「表情・態度」、「言葉遣い」等、接遇改善のための研修を定期的を実施し、職員一人ひとりのスキルアップを図って行きたいです。

● コメント

私が提案しました市独自の「接遇マニュアル」の作成、「毎朝の朝礼時に挨拶等の唱和」について、接遇研修の一環として推進し、実践していく事がスキルアップに繋がり、市役所に対する満足度の向上に繋がるものであると考えている、と前向きな答弁を頂きました。



まつうら りくこ
松浦利久子議員

子育て応援アプリについて

Q

子育て世代でのスマートフォンの利用率が高まる中、現在宇陀市で展開している様々な子育て支援の情報を、出先でも空き時間に手軽にしかもタイムリーに情報が受け取れるようにスマートフォン向けのアプリの導入を考えてはどうか。

A

スマートフォンを使っただけの情報発信は、情報ツールの進展・普及の面から有効な施策と考えている。現在、市ホームページに『出会い～結婚～妊娠～出産～育児』に関する情報を一元化したページの作成に向け情報を取りまとめている。そのように子育てに特化した専用ページをスマートフォンにも対応できるようにすることで、アクセスしやすく利用がスムーズになるよう考えていきたい。

●その他の質問事項

- ・若者の夢の実現へ後押しを（高校生・学生世代へのサービスの充実の観点から、自費留学のための費用の一部助成を提案）



いたに けんじ
井谷憲司議員

「宇陀市の危機管理体制は大丈夫か？」 —震災時における行政組織面での対応について—

Q

今後30年以内に高い確率で発生が危惧されている東南海・南海等の大震災に対する宇陀市の行政組織面での対応について。（特に、職員300人体制において市民の安全等は担保できるのか）

A

大災害発生に際し、住民の生命又は財産保護のため、特に必要と認める場合、躊躇することなく、県知事に対し、自衛隊派遣要請を行う事となります。また、「職員も被災者である」事を想定したうえで、行政機関が機能するかは職員個々の平素の備えにかかっており、「日頃から身の回りの備えを行い、救助される側ではなく復旧・復興に貢献する人」を目指す心構えを持つことが大切であると考えています。更に、復興・支援・情報収集の要となる宇陀市役所及び負傷者の救護・看護の責務を担う事となる宇陀市立病院にあっては、いずれも、地震予知連絡会が想定している震度6弱から強に耐えうる耐震性能となっております。



にしうら まさのり
西浦正哲議員

当面の課題3点の方針と取り組みについて

Q

- 1.特産品・名産品等の情報を商業施設の一 corner で販売を兼ねて物流センターとして展示しては。
- 2.公職選挙法等の改正で年齢引き下げに対する取り組みは。
- 3.有害鳥獣対策の更なる支援と取り組みについて。

A

- 1.商業施設の利用は効果があるが経費も掛かるので、十分検討協議して取り組む。当面は市内各所や道の駅等で展示・販売を進めていく。
- 2.年齢引き下げによる啓発活動を高校、中学教育の中で出前講座等を取り入れ啓発を行い主権者教育、公民教育を進め規範意識の高揚を育てていく。
- 3.宇陀市の大きな政策課題であり基幹産業に大きく影響するため、生息数の減少に努め、平成35年を目途に半減をめざし駆除に取り組む。現在把握している生息数は、全国統計を基準に、猪1,000頭、鹿1,230頭、猿はAB群合せ81頭で猿の全頭捕獲を計画している。



うえだ のぶる
上田 徳議員

観光客誘致のための近隣市町村との連携と観光資源の整備・充実について

Q

観光客誘致に向けて近隣自治体との連携をどうお考えか。又インバウンド(外国人観光客)の対応はどうお考えか。

A

観光客誘致に伴う近隣自治体との連携は大事であると考えている。すでに連携をしている自治体もあるがさらに連携強化を進めていかなければならないと考えている。外国人観光客誘致に向けても情報発信ツールの作成、近隣市町村との連携を図りながら受け入れ体制の構築、商品開発を行い来訪者の誘客につなげていきたい。

Q

観光地や観光施設の整備、また宿泊施設の整備について。

A

観光客に満足していただける観光地づくりを行う。また美榛苑については利用客などの経営資源や温泉資源を活用した民設・民営で施設整備ができないか、遊休地等を活用することにより民間活力による建設誘致ができないか検討中である。より充実した施設を構築したい。



やまもと ゆうき
山本裕樹議員

宇陀市の観光振興について

Q

宇陀市の観光の現状と経済効果、観光と観光産業の考え方と振興について。



ひろさわ たかひで
廣澤孝英議員

A

宇陀市へ平成26年度累計で1,229,950人が訪れており経済効果は波及していくものと考えられ、観光振興による交流人口の増加はこれからの人口減少が予想される時代に大変重要なものであると考えています。経済研究所の経済波及効果調査では、宇陀市に訪れて頂いた方のなかでの市内消費が日帰りですら約2,000円から3,500円、宿泊者で約33,000円という調査結果がでています。これらの結果を踏まえ、観光受け皿の整備は近々の最重要課題と位置付けており、優れた観光資源を効果的に組み合わせ、分かりやすく情報発信していき、行政、市民の皆様、観光事業者が一体になって取り組んでいき、再び訪れなくなる観光地、周りの方に教えたくないような観光地づくりが持続的な観光産業を支えていくものであると考えています。

宇陀市10周年の成果と課題について

A

1. 成果の1つ目として、10周年を市民が共に祝い、喜びを分かち合い、更なる市民融和と郷土愛の醸成が図れることや宇陀市の良さや魅力を再発見又は創造し、市内外に効果的な情報発信が図れること、市民が協働するまちづくりへの参画するきっかけ創り、更には、賑わいの創出による交流人口の増加、地域の活性化が図れることなどが効果と考えております。
2. 合併10年の成果と今後の課題については、住民サービスの維持・向上が図られた。また、行財政運営の効率化により財政基盤の強化、更には、市民主体の地域づくりの推進が図られた。今後の課題としては、人口減少、高齢化に伴う新たな行政需要への対応が求められ、住民サービスの低下を招かないように、まちづくりの在り方を検討する必要があります。また、地域づくりに対する新たな需要や福祉対策、雇用対策等の関係経費の増加が見込まれるため、一層簡素で効率的な行政体制の整備と安定的な財源の確保が必要です。



きくおか ちあき
菊岡千秋議員

公の契約・委託制度について

Q

水道局契約の3件において契約・随意契約及び工期の設定および工種変更について質問を行いました。



にしおか ひろやす
西岡宏泰議員

A

大宇陀野依・内原については、奈良県宇陀土木事務所との関係により入札執行を行ったが本体工事が遅れたため全体的に工期が遅れた。玉立赤瀬地内においては、事前に隣接地権者との立会を行っていなかった為に工程を見直し工種変更を行った。西山左近橋においては、工期・場所等が関係する為随意契約となった。出水期(6月16日～10月15日まで)は直接の工事は行えない。

地元住民の理解を得ながら工事を進めていきたい。

● コメント

上下水道事業において計画地域の見直しを含め、未普及解消事業の予算配分などを見直して頂く必要があるように認識していますので早期に対応するように要望した。

駅前の再開発について

Q

榛原駅・室生口大野駅前の再開発について、どのような方針で行うのですか。



かつい たろう
勝井太郎議員

A

榛原駅前につきましては、商店街から駅前に抜けるための新しい市道の整備と併せて集客施設の整備について奈良県農協と協議を進めています。室生口大野駅前につきましては、観光案内機能を持った施設整備が必要と考えています。

Q

どちらも地域の方々と一緒に計画を作り、事業を進めていく必要があります。地域とはどのような話をしていますか。

A

住民に提案をお願いすることは難しいと考えています。行政からの素案に基づいて検討または審議をいただいて、住民の合意形成を図っていきたくと考えております。

● 要望

住民と一緒に地域の姿を考え、引き出していくのが行政の役割です。説得ではなく、協働で計画をつくりましょう。

きかせて！あなたの未来

No. 3

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



とくだ まさひろ
徳田 将大さん (菟田野 26歳)

私の将来の夢は、宇陀市といえば『とっきん亭』と言われるほどのお店にすることです。
父が創業したこのお店のおかげでここまで育ててもらったので、少しでも広く知ってもらいたいと思っています。今は父の元で修行の身ですが、ゆくゆくは継ぐつもりです。
一時は奈良を離れ働いていましたが、生まれ育った地元・宇陀の良さを実感し「この町、この店を元気にしたい」と強く思うようになりました。
何か、まちおこしに役立てられる事はないかと考えていた時に宇陀の大和トウキ葉の存在を知りました。これを料理に使えないかと思い、現在販売中の大和トウキ葉入り餃子を考案しました。
今は、店のFacebookでも紹介している『大和トウキ葉を使ったドレッシング』の発売に向けて日々奮闘しています。

募集します！ きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。
今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？
住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真を添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。
年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

次回 3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
		3/1	2	3	4	5
				本会議 (議案提案)		
6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (議案質疑)	常任 委員会	常任 委員会		予算 委員会	
13	14	15	16	17	18	19
	予算 委員会					
20	21	22	23	24	25	26
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		本会議 (討論・採決)	
27	28	29	30	31		
	予備日					

10：00 開会（変更の場合があります）

編集 後記

編集委員
勝井太郎

議会だよりが発行されるようになって2年目になりました。この本はすべての原稿執筆、デザイン、編集も議員だけが行う形で発行をしています。創刊当初は手探り状態で作業が深夜に及ぶこともしばしばありました。
今年から18歳以上の方に選挙権が与えられるようになります。夏には参議院議員選挙もあり、若い世代が政治に参画する大きな機会がやってきます。

私たちも議会だよりの紙面を通じて若い世代が政治に少しでも関心や興味を持ってもらえたらと思っています。学生さんが読んで読みやすい議会だよりを目指して議員一同頑張っています。

お問い合わせ(議会事務局)

電話 0745-82-5771
IP電話 0745-88-9082

宇陀市ホームページ

<http://www.city.uda.nara.jp/>